



2025年5月14日

各 位

会社名 ヒラキ株式会社
代表者名 代表取締役 伊原 英二
(コード番号 3059 東証スタンダード)
問合せ先 取締役現業支援本部長
姫尾 房寿
(TEL 078-967-4601)

特別損失（減損損失）の計上および業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたします。併せて、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

2025年3月期において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき保有する固定資産のうち、将来の回収可能性を検討した結果、一部店舗及び物流センターについて減損損失として607百万円を計上いたしました。

2. 2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想 (A)	13,900	150	150	100	20円54銭
実績 (B)	12,960	△3	△0	△689	△141円72銭
増減額 (B-A)	△939	△153	△150	△789	—
増減率 (%)	△6.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	13,313	△46	0	△15	△3円12銭

3. 差異の理由

売上高につきましては、店舗販売事業は堅調に推移する一方、通信販売事業においては、円安による仕入価格の上昇等による価格改定に見合った価値ある商品を十分に提供出来なかったことにより受注件数が予想に至らず、計画を下回る結果となりました。

利益面におきましては、販管費は計画以上の削減を図れたものの、売上総利益率の高い通信販売事業の減収が大きく影響した結果、営業利益・経常利益ともに計画を下回りました。

また、上記1.の特別損失（減損損失）を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益についても大幅に計画を下回る結果となりました。

以 上